

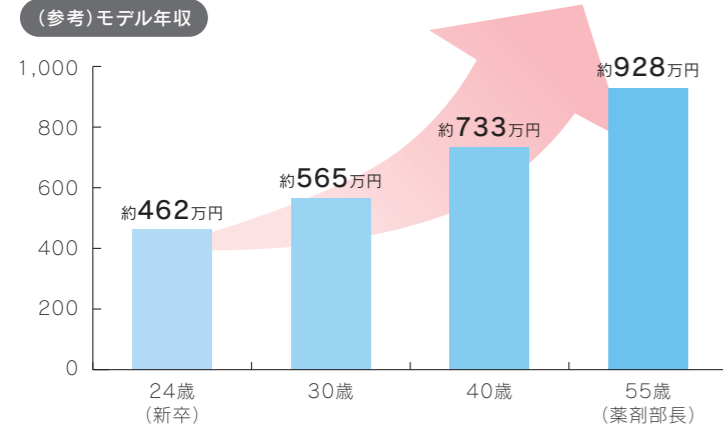
新潟県立病院

薬剤師 採用案内

給与

令和8年度新規学校卒業者の初任給です。卒業後に民間の職歴等がある場合は一定の基準で加算されます。期末・勤勉手当(民間企業の賞与などに相当するもの)は6月、12月に支給されるほか、状況に応じて扶養手当、通勤手当、住宅手当等が支給されます。

区分	初任給(地域手当含む)
薬剤師(病院)	266,288円



○モデル年収には次の手当が含まれています。
住宅手当27,000円/月(家賃月額53,000円以上)、通勤手当2,900円/月(自家用車4km未満)、時間外勤務手当10時間分/月

勤務条件

勤務時間/原則、午前8時30分～午後5時15分

- 休暇/年次有給休暇 ●年間20日
●時間単位での取得も可能
夏季休暇 ●5日間

このほか、病気休暇や結婚休暇、ボランティア休暇、介護休暇などが取得可能。また、育児休業制度、育児短時間勤務制度なども充実しています。

主な福利厚生

- 年1回の定期健康診断のほか、希望による人間ドックや各種がん検診
- 各種スポーツ大会やレクリエーション行事を開催
- 住宅手当として居住費を一部補助

問い合わせ先

新潟県病院局 総務課人材確保育成班

〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1

TEL:025-280-5561

FAX:025-285-3843

新潟県病院局 総務課人材確保育成班

▼ 県ホームページ
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/byoin/>

県ホームページ



なりたい薬剤師へ。

Your future
Your pharmacy



新潟県立病院薬剤部の 特色

01

「地域医療病院」「地域中核病院」「広域基幹病院」「専門病院(がん、精神)」
様々な機能を持った病院があります。

- 全9病院で薬剤管理指導を実施、病棟業務やチーム医療にも積極的に取り組んでいます。
- 異動を通じて機能、規模が異なる病院で経験を積むことができます。
- 専門病院の勤務で該当領域について深く学ぶことができます。

02

9病院のネットワークを生かし、単独の施設では難しい活動ができます。

- 新潟県立病院薬剤師部会の活動… **他病院薬剤師との交流**
- 病院局主催の研修の実施… **同年代の他病院、他職種との交流**
- 生涯研修、認定取得の支援… **金銭的な支援、先輩薬剤師によるノウハウの支援**

03

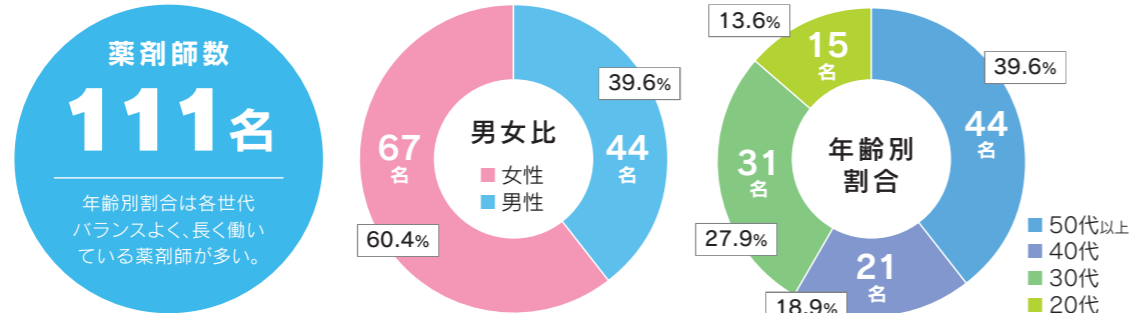
育児支援が充実し、働き続けられる職場環境があります。

- 子どもが3歳になるまで、育児休業を取得することができます。
- 職場復帰後も、育児短時間勤務や部分休業などの制度があります。
- 院内保育所が整備されている病院(中央・新発田)があります。



新潟県立病院の 薬剤師の構成

令和8年4月現在



新潟県立病院薬剤師部会の活動

「新潟県立病院薬剤師部会」は、以下のような活動を行うとともに、病院間の交流を図っています。

総会

年1回、薬剤師部会の会員が集まる機会です。新人薬剤師の紹介があり、薬剤師部会の仲間入りです。本題の後は懇親会も開催されます。

各種委員会の活動

県立病院共通の問題解決のために各種委員会活動を行っています。現在は「学術委員会」「業務改善委員会」が活動しています。

独自研修会の企画・運営

- 自分たちで興味のあるテーマを選定し、主体的に研修会を企画・開催しています。
- 県外から著名な講師を招くなど、質の高い学びの場を自分たちの手で作り上げる文化があります。
- 現在は次回の開催に向けた準備を進めており、若手からベテランまでが共に学べる場を再構築しています。
※現在は再開に向けて新たな企画を準備中



独自研修会の様子

これらの活動が、各病院で活躍する病院薬剤師の業務を支えています。また、病院間の人事異動により、様々な病院での経験を有した薬剤師がいることで、業務改善や見直しについてスムーズに行うことができます。

生涯研修のサポート、専門・認定薬剤師の 育成

医療現場には、次々と新しい治療・薬剤が登場してきます。病院薬剤師は、患者さんに対する薬物療法の最適化を支援する薬の専門家として、生涯にわたって自己研鑽に努めなければなりません。

- 県立病院には、病院薬剤師の研修や学会参加にかかる費用を助成する制度があります。
- より安全で有効な薬物療法の実施に貢献し、指導的な役割を担うことのできる薬剤師を育成するために、専門・認定薬剤師取得更新を支援する制度があります。

支援項目	対象	支援内容
研修会・学会参加支援	全員	業務に関係する学会や研修会への旅費、参加費
認定薬剤師等研修支援	希望者(選考あり)	新規取得のための研修会等参加費、受験料 資格更新のための審査料、更新料等の費用

主な認定取得実績

県立病院薬剤部にはすでに、多くの認定・専門薬剤師が所属しており、各病院で活躍しています。

認定組織	名称
日本医療薬学会	がん専門・指導薬剤師
	医療薬学専門・指導薬剤師
日本病院薬剤師会	がん薬物療法認定薬剤師
	感染制御認定薬剤師
	精神科薬物療法認定薬剤師
	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師
日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師
日本臨床栄養代謝学会	NST専門療法士
日本化学療法学会	抗菌化学療法認定薬剤師
日本医療情報学会	医療情報技師

キャリアパス

充実した
研修
支援制度

経験豊富な
先輩薬剤師の
サポート

入職後5~10年のイメージ

基本的な 薬剤師業務の習得

調剤業務、製剤業務、
抗がん剤調製業務、
DI業務など薬剤部内
業務の習得。

病棟担当 薬剤師として

病棟薬剤業務や
薬剤管理指導を経験し、
幅広い知識を有した
薬剤師をめざします。

チーム医療への参画

興味のある専門領域、
実際に担当している
領域等について深く学び、
スペシャリストとしての
薬剤師をめざします。

学術研究や認定・ 専門薬剤師取得

学会発表や論文作成に
チャレンジ、専門・認定
薬剤師の資格取得を
めざします。



※配属される病院によって業務内容や、経験できる領域は異なりますが、薬剤師として基本となる業務についてはどの施設でも同じです。

患者さんのニーズや、医療の進歩による多様化により、医療現場では“チーム医療”の重要性がますます高まっています。チーム医療とは、様々な職種が、それぞれの専門性を生かして、協働して取り組むことです。県立病院の薬剤師も各病院でチームに参加し、専門性を生かして活躍しています。

second year



Interview

- 出身大学／北陸大学
- 採用年度／令和6年

現在の
仕事内容

■ 病棟業務
消化器内科・外科、
産婦人科、乳腺外科の
病棟を担当

分岐点

令和6年 ▶ 入庁 県職員(薬剤師)として採用、
新発田病院に配属



古山 佳奈

新潟県立新発田病院

2年目 「薬剤師(広域基幹病院)」 古山さんへの質問

Q1 入職してどんなことを学んだ
2年間でしたか?

A まずは業務基準・調剤内容の習得から始まり、多くの処方を経験
する中で、確認すべきポイントや問題点に気づく力、問題解決の
方法を身につけました。
現在は病棟業務において、患者さん一人ひとりに応じた治療効
果や副作用の評価を行い、適切な治療に貢献できるよう日々努
めています。

Q2 日直や当直業務は
いつごろから入りますか?

A 1年目の10月から当直、3月から日直が始まりました。
最初は一人での業務に不安もありましたが、調剤室と管理室の
業務を一通り経験してから当番に入ることができたので、着実に
力をつけられたと感じています。

Q3 異動(転勤)についてメリットと思うこと、
また困ったことがあったら教えてください

A 様々な病院で経験豊富な先輩方と一緒に仕事ができるのは、自
分の大きな成長に繋がると感じています。
一方で、異動の発表から引越しまでの準備期間が短いことは少し
大変ですが、それ以上に得られる刺激や学びは大きいと思います。

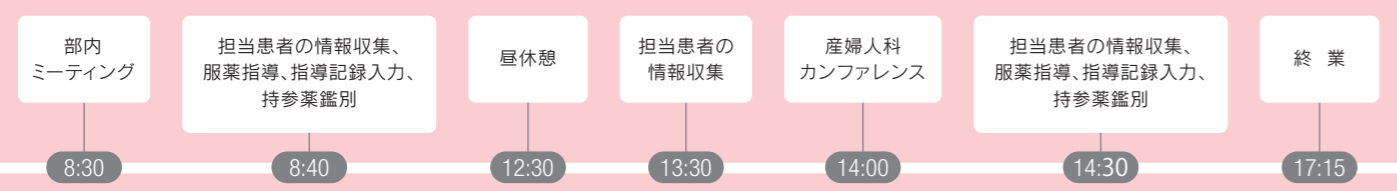
Q4 これから求職する人へ
メッセージ

A 病院薬剤師は大変なこともあります。患者さんや他職種から頼りにされる、とても
やりがいのある仕事です。私もまだまだ勉強中ですが、先輩方のサポートのおかげで
日々成長できています。
少しでも興味があれば、ぜひ一度見学に来てください。自分の目で確かめることで、
きっと進みたい道が見えてくるはず!

1~2年目の流れ



ある日の1日



second year

Interview

- 出身大学／新潟薬科大学
- 採用年度／令和6年

現在の
仕事内容

■ 病棟業務

分岐点

令和6年 ▶ 入庁 県職員(薬剤師)として採用、
坂町病院に配属



小林 ちひろ

新潟県立坂町病院

2年目 「薬剤師(地域医療病院)」 小林さんへの質問

Q1 現在の仕事とやりがいについて
教えてください

A 今は病棟業務をメインに担当しています。
医師や看護師から薬についての相談を受けたり、退院される患
者さんがご自宅でも安心してお薬を使えるようにフォローしたり…。
自分の関わりが、患者さんのスムーズな回復に繋がっていると実
感できる瞬間に、大きなやりがいを感じます。

Q2 日直や当直業務は
いつごろから入りますか?

A 当院では当直はなく、日直も最初は午前中のみ。
本格的な日直に入ったのは1年目の8月頃からです。
その前に何度か「補助」として先輩と一緒に業務を覚える期間が
あったので、不安を一つずつ解消しながら進むことができました。

Q3 学会や研修会への参加はできますか?

A 1年目は中毒学会と関東ブロックの学術大会、2年目は老年薬学
会に参加しました。
申請すると旅費などの補助が出るので、若手のうちから学会に
参加しやすい環境なのは本当にありがたいです。

Q4 これから求職する人へ
メッセージ

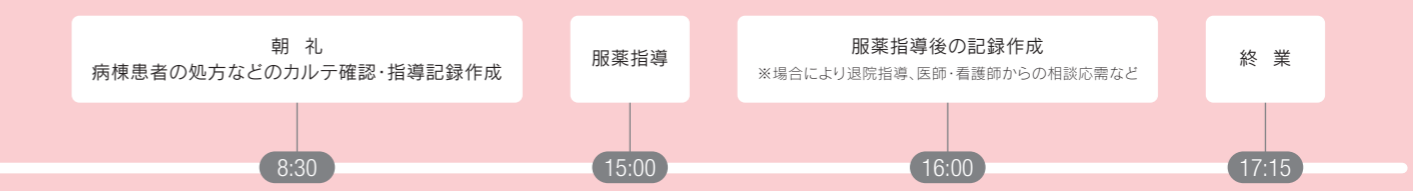
A 自分がどんな薬剤師になりたいか、そして
どんな人生を歩んでいきたいか。
そんな未来をイメージしながら、県立病院
を選んでもらえたら嬉しいです。
就職活動は悩むことも多いと思いますが、
自分の想いを大切に頑張ってください。
皆さんと一緒に働けるのを、楽しみにして
います!

1~2年目の流れ

- 調剤室業務
- 製剤室業務
- 糖尿病教室
- 管理室業務
- 病棟業務

地域医療病院ならではの
全ての業務を並行して経験できます

ある日の1日





Interview

- 出身大学／名古屋市立大学
- 採用年度／平成19年度

- 現在の
仕事内容
- 病棟薬剤業務
 - NST

分岐点

- 平成19年 ▶ 入庁 新潟県立小出病院に配属
- 平成22年 ▶ 異動 新潟県立中央病院に配属
- 平成25年 ▶ NST専門療法士の資格を取得、資格取得後NST担当へ
- 平成28年 ▶ 異動 新潟県立新発田病院に配属
- 令和5年 ▶ 職場復帰 NSTを担当

田村 あずさ

新潟県立新発田病院

「NST専門療法士資格取得者」田村さんへの質問

Q1 県立病院で働く魅力を教えてください

A 様々な休暇制度を活用し、仕事と子育てを両立できるのが県立病院の魅力です。私は次女の時に約3年間の育児休業を取得し、子育てに集中する時間を持つことができました。現在も小2と年中児を育てていますが、行事の際などは周囲が快く送り出してくれます。制度が整っていて、職場の理解があるからこそ、安心して働き続けることができます。

Q2 認定薬剤師としての活動内容を教えてください

A NSTの一員として、他職種と連携しながらNST対象患者さんに以下の活動を行っています。

- 栄養評価と提案：採血データや病態から、必要な輸液や栄養剤を選択・提案。
- 副作用：トラブル対応：下痢や嘔吐などのトラブルがあったとき、原因が薬剤にないか精査し、改善策を提示。
- 多職種カンファレンス：週1回の回診で、各専門職と治療方針をディスカッション。

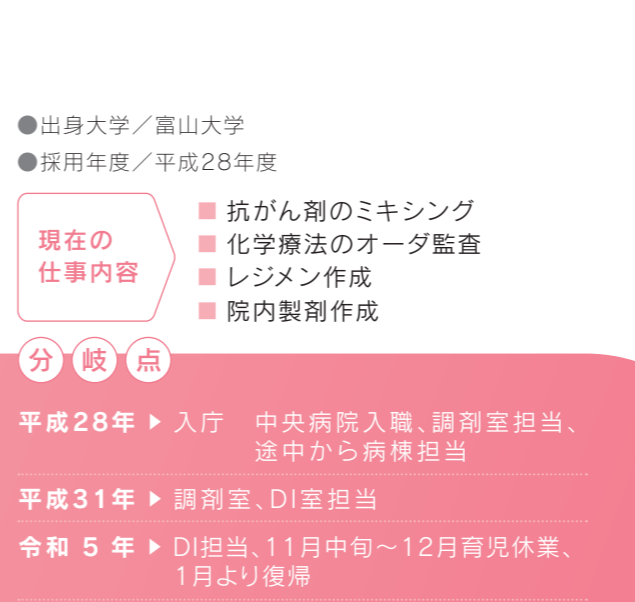
薬剤師の介入によって、より安全で効果的な栄養管理が行えるよう日々努めています。

Q3 認定薬剤師としてのやりがいを教えてください

A NSTが栄養サポートを行ったことで、褥瘡が治癒したり、患者さんの栄養状態が良くなり元気になっていくのを見るのが一番のやりがいです。また、最近では担当病棟や部署内で栄養管理に関する相談を直接受ける機会も増えてきました。どんな些細なことでも気軽に相談してもらえる雰囲気を作りながら、力になれるよう自己研鑽を積んでいきたいと思っています。

Q4 取得支援制度、周囲のサポートについて教えてください

A スキルアップへの支援は本当に手厚いです。2024年度の更新時には、助成制度を利用して更新料をサポートしてもらいました。また、取得に必要な40時間の実地修練の際も、部内で業務を調整してバックアップしてもらえたおかげで、研修に専念できました。試験勉強の時も、きっかけをくれた先輩が勉強法を伝授してくれ、親身に、そして温かく見守ってくれました。



Interview

- 出身大学／富山大学
- 採用年度／平成28年度

- 現在の
仕事内容
- 抗がん剤のミキシング
 - 化学療法のオーダ監査
 - レジメン作成
 - 院内製剤作成

分岐点

- 平成28年 ▶ 入庁 中央病院入職、調剤室担当、途中から病棟担当
- 平成31年 ▶ 調剤室、DI室担当
- 令和5年 ▶ DI担当、11月中旬～12月育児休業、1月より復帰
- 令和6年 ▶ 4～9月育児休業、10月～製剤室担当

遠藤 信平

新潟県立中央病院

「製剤担当、育児休暇制度利用者」遠藤さんへの質問

Q1 現在の仕事とやりがいについて教えてください

A 近年、新しい抗がん剤が次々と登場しており、がん化学療法は日進月歩で発展しています。レジメンの作成業務は、化学療法に関する知識を整理し、アップデートするのに適しています。抗がん剤のミキシングや院内製剤の調製は薬剤師の仕事の中でも特に「体を動かす」仕事だと思っており、知識だけでは身につかない手技を学べる点にとってもやりがいを感じます。

Q2 県立病院で働く魅力を教えてください

A 大規模から中小規模まで、様々な病院での業務を経験できることが魅力だと感じています。また県職員となるため福利厚生が充実しておりワークライフバランスを重視した働き方ができます。

Q3 育児休暇制度を利用した感想などを教えてください

A 第一子の誕生に合わせて合計7か月の育児休業を取得しました。休業期間は育児休業給付金の活用で金銭面の心配は少なく、子育ての大変さ、楽しさを家族で共有できる充実した時間を過ごせました。県立病院は男性でも育児休暇を取得しやすい職場環境です。

Q4 これから求職する人へメッセージ

A 自分が就職したときのことを思い返すと、分からないことやできないことの連続でした。向いてないのではと思うことが何度もありましたが、それでも「石の上にも3年」の気持ちで続けたことで、少しずつできることが増え、気づけば仕事の面白さを実感できるようになっていました。キャリアを重ねても、常に新しい学びがあるのはこの仕事の醍醐味です。規模や機能の異なる病院を複数展開する県立病院だからこそ、皆さんがあなたらしく成長していける仕事に巡りあえるでしょう。ここで共に歩んでいける日を楽しみにしています。

